

第4回入間市指定管理者候補選定委員会会議録

- 1 日 時 令和6年10月11日（金）午前9時30分～午前9時55分
- 2 場 所 入間市役所 B棟 5階 第3委員会室
- 3 出席者 委員長 濱川敦
委 員 浅見嘉之、平沼宏之、河村香代子、高梨雅樹、小林由利
所管課 スポーツ推進課長 中林健、主幹 戸坂次郎、副主幹 青木里恵
事務局 デジタル行政推進課長 山本優、主査 佐々木雄基、主任 櫻木美智
- 4 欠席者 押木正己
- 5 議 事
議 題
 - (1) 集計結果及び指定管理者候補の決定について
 - (2) 今後のスケジュールについて

(1) 集計結果及び指定管理者候補の決定について

事務局より、最終的な候補の選定方法について、再度確認するため、次の説明をした。

申請を受けた施設所管課において、応募者が申請制限に該当するか否かを確認する「資格審査」については、前回の委員会で報告したとおり、申請制限に該当していない。

「提案審査」は、応募者によるプレゼンテーションを踏まえ、各委員に採点をしていただいた。今回応募は1団体であり、各審査項目の採点結果のうち、より公平に評価するため、審査項目ごとに最高点と最低点を除いて算出した平均点（小数点以下第2位まで）をその審査項目の選定委員会としての評価点とし、総合評価点が最低基準点である210点を超えている場合には、その応募団体を指定管理者候補として選定する。

次に、本日の会議における各施設の指定管理者候補選定までの具体的な進め方について次のとおり説明し、委員の了承を得た。

候補の選定にあたり、最初に応募者の総合評価点を発表する。

今回は応募者が1社のみであるため、最低基準点が210点を超えている場合には、その応募者が指定管理者候補となる。続いて、審査の中でどの審査項目が高い評価を得ているかを説明する。

その後、各委員には、これらを踏まえ、審査で評価したポイントや意見、感想などを述べていただく。

いただいた意見等については、施設所管課で取りまとめ、最終的な委員会としての選定理由としたい考えである。

委員長：事務局から進め方について説明があったが、意見や質問はあるか。

委 員：なし

委員長：では事務局の説明のとおり審議を進めさせていただく。「入間市地区体育施設等」の集計結果を事務局から報告願う。

事務局：応募者である「アイル・コーポレーション株式会社」の総合評価点は「221.80」点となっており、入間市地区体育施設等への応募者は「アイル・コーポレーション株式会社」1社のみであり、最低基準点の210点を上回っているため、「アイル・コーポレーション株式会社」が候補者となる。次ページに、委員別の審査表を掲載している。

委員長：事務局の報告により、「アイル・コーポレーション株式会社」は最低基準点を上回っているとのことである。次に「アイル・コーポレーション株式会社」が、高評価を得た審査項目について、事務局から説明願う。

事務局：「管理に関する経費の削減に向けた考え方」、「施設の管理基準及び管理体制」、「申請団体の経営状況」、「事業実績」が、高評価を得ている。

委員長：事務局から「アイル・コーポレーション株式会社」の高評価を得た審査項目について説明があった。これらを踏まえ審査で評価したポイントや意見、感想をお聞かせいただきたい。まずは本日欠席の押木委員の意見等について、事務局から報告願う。

事務局：押木委員からは、「アイル・コーポレーション株式会社」を「入間市地区体育施設等」の指定管理者候補として決定することについて問題ないとの意見を事前に伺っている。また、評価のポイントとしては、埼玉県内において施設の管理実績があり、基本方針や基本コンセプトの理解があると思われる。団体の経営状況は健全である。現在の施設管理や事業の効果的な広報や従業員の労働条件、人員配置やシフトの妥当性は、振興公社との引継ぎ等がスムーズに行われなかったということであり、事情もあると思われるが、あまり良いという印象ではない。ただし、まだ体育施設管理業務は6ヶ月あまりの経過で、地区体育施設等の契約を含め今後に期待するところは大きいとの意見であった。

委 員：応募者は本年度から入間市体育施設の指定管理者となっている。職員配置と雇用状況が非常に気になっていた。提案審査においてそのことについて質問し、職員配置については対応していただけるということ、改善してくれるということを確認した。

入間市体育施設の指定管理については、半年が経過し当初課題のあった人員配置等において改善が見られているため、更なる改善に期待する。

ただやはり自由提案が物足りないが、年度を重ねるに従って今後地域との連携も保たれるという点に期待し、今回は問題ないとさせていただいた。

委 員：総合評価点を上回っているので指定管理者に適している。埼玉県内で実績もあり、市体育施設の指定管理も行っているので、メリットも活かせる考える。

ただ改めて感じるのが、全体の集計表を拝見していると、300点の7割での210点を最低基準点としているが、「3.業務の実施内容と方法」と「8.緊急時の対応」の

審査項目については7割を下回っている。自由提案についての審査項目となっている「9.その他」の項目についても7割を下回っており、各委員が同様の評価をしているということを感じた。各委員がそのように評価していることについて、今後施設を運営する中で、市とタイアップしながら様々な事業を進めていくことを期待して、今回は指定管理者としてふさわしいという評価とした。

委員：採点結果の通り、全体としては指定管理者候補に適していると評価した。良かった点として、「3①管理に関する経費の削減に向けた考え方」については、経費が最小限になるよう工夫しているという点が評価できる。今後は入間市体育施設と連携した事業に期待したい。また、プレゼン時は時間の関係上質問ができなかったが、同事業者が指定管理者として管理運営を行っている県内他自治体の公共施設との連携事業の実施という提案があったが、その点についても期待をしているところである。以上2点の事業について地域の活性化に結び付くことに期待したい。

委員：採点結果の点数が最低基準点である7割を上回っているため、指定管理者候補として問題ないものと評価した。現状の入間市体育施設における職員配置について不安があるため、入間市地区体育施設等の管理運営に向けて改善をしていただきたい。また、体育施設の指定管理や県内他施設を管理してきた実績から、市民サービスの向上に期待したい。

委員：特筆して評価できる点は正直なところなかったが、体育施設と連携してうまくオペレーション出来るのではというところを期待して評価した。今年4月から行っている入間市地区体育施設の委託管理においては、職員配置、人材定着に課題があるということだったので、今後は改善に向けて雇用管理をしっかりしていただきたい。また、広報については、入間市体育施設のHPやXの更新頻度が低いので、提案に沿ってもう少しタイムリーな発信により集客に努めていただきたい。

委員長：全体的な評価としては可もなく不可もなくといったところであった。県内の類似施設を多く管理していることから、安心安全に管理できる実績と安定感、会社としての総合力には期待できる。入間市体育施設の指定管理において様々な課題はあるが、まだ半年ということで全てを評価できる時期ではないので、入間市体育施設と入間市地区体育施設等と一体として、効果的に管理することができるというところに期待したい。この審査結果に基づき、「アイル・コーポレーション株式会社」を指定管理者候補として選定するということが異議はないか。

全委員：異議なし

委員長：「入間市地区体育施設等」の指定管理者候補を「アイル・コーポレーション株式会社」に決定する。なお、「アイル・コーポレーション株式会社」が辞退した場合は、再度公募を行うこともあることを申し添える。以上で、議事（1）「集計結果及び指定管理者候補の決定について」を終結する。

(2) 今後のスケジュールについて

委員長：今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

事務局：来年4月に指定管理期間が始まるまでのスケジュールを説明する。本日の会議で指定管理者候補を選定いただいたため、指定管理者候補選定委員会は終了となる。今後は、事務局であるデジタル行政推進課とスポーツ推進課において手続を進める。

令和6年（10月下）選定結果の通知（応募団体へ）

（10月下）指定管理者候補決定についての協議決定

（11月下）議案提出「指定管理者の指定」「債務負担行為の設定」

（12月中）告示「指定管理者の決定」

令和7年（1月）指定管理者との協定書締結

（3月）広報いるま及び市公式ホームページで指定管理者の公表

以上の工程を経て、令和7年4月から指定管理者による運営が開始される。

委員長：事務局からの説明で不明な点はあるか。

委員：選定結果の通知内容はどのようなものか。

事務局：選定理由や採点結果についての記載はなく、選定結果のみを通知するものである。

委員長：他に不明な点はあるか。

全委員：特になし。

委員長：以上で、議事（2）「今後のスケジュールについて」を終結する。

7 その他 無し

以上